



金城学院幼稚園

No.



# こどもニュース



年長キャンプ

2019 年度

編

7./10 発行



来週の水曜日は、いよいよ年長児が幼稚園でキャンプを行います。今まで、様々な準備を進めてきました。今回のこどもニュースでは、その様子をお伝えします。

年長児キャンプと言っても、準備をしている様子を間近で見ている年中児・年少児も他人事ではありません。話しているのは何のことか、手に持っているそれは何か、歌っている歌は・・・と年長児の楽しそうな、そしてちょっぴり特別感のあることに興味津々です。

三つ編みのカバン用タグ作りを年長児がしていると「私はピンクと紫がいい」と紐の色を選び出す年少児。その年少児に「年長になったら出来るからね」と優しく諭す年長児の姿がありました。また荷物用タグ作りをしている机の所に来て、「私のはどこにあるの?」と聞く年少児もいました。これには年長児も苦笑いでした。他にも作りかけの寝袋に入っていた年長児に「私も入りたい」と潜り込んできた年中児・年少児は♪キャンプだホイ、キャンプだホイ～と楽しそうに歌い出していました。

自分のことのように楽しみにしている年中児・年少児、“年長になったらキャンプ”と憧れていた年長児、縦割りの生活だからこそ見られる姿だと思います。

そうそう今年のキャンプファイヤーでは沖縄民謡を使ってじゃんけんゲームをします。年長児の歌う沖縄民謡も素敵ですよ。

(まさえ ●●●...)

キャンプの準備、それは話しあいからでした。

話しあい - その1 -

1番初めに話し合ったことは、1泊2日のスケジュールを  
決めること。子ども達と時間を追って遊ぶ→  
昼ご飯→遊ぶ→晩ご飯→遊ぶ→お風呂...と  
日頃どんな風に過ごしているかを振り返りながら、  
決めました。何よりも「ご飯はみんなで作らな  
いかな」と子どもから声があり、「フキン...ね」と  
賛同する子ども達の姿が  
生活力が育っていることを  
嬉しく思いました。

話しあい - その2 -

スケジュールの次は、「遊ぶ」と決めた時間内  
何をしたいか...という事です。「みんなでゲーム」  
「みんなで歌って踊りたい」「みんなでスライム」  
「みんなでトランプ」etc. みんなで楽しみたい  
という思いが伝わり、くる意見がたくさん  
出ました。他にもソフトボールやカプラ、  
シキトリン、折り紙...と日頃、幼稚園で  
遊んでいる遊びもたくさん出ました。  
そこで、園内にあるソフトボールやシキトリンを  
全部あつめて遊ぶことを提案してみました。  
子ども達からは「あ、いい!!」「やりたい!!」と、  
また一つ、キャンプが楽しみたいになったようでした。

話しあい - その3 -

いよいよ食事メニュー決めです。じっくり考えて決めました。意見が出て  
きた内容には、カレー・BBQ・流しそうめん・玉子かけご飯・からあげ  
・シチュー・ドリア・おライス・フライドポテトetc. 自分の好きな物がたくさん  
あったに思いますが、この時、子どもの中から「玉子、食べたくないのよ」と  
アレルギーの話が出ました。「どうしようか?」と問いかけると  
「みんなで食べられるのかな」「じゃあ玉子なしにすればいいよ」と  
と子ども同士で話し込んでいきました。そこで、決めたメニューは、

- ① カレーライス、ポテト、  
② おにぎり、お汁、  
③ おやつ ポンキ、ポテ、セリ-

それぞれに名前をつけて、  
年長さんにも聞いてくださーい。

話しあい - その4 -

大詰は、食材決め。カレーの食材決めでは「牛乳を  
入れた」という意見が「私、牛乳嫌い」という発言が  
ありました。話を聞いて「後から食べたい人だけ牛乳を  
かけたらいいと思う」という意見。これに、みんなが  
「いいね」と、牛乳はトッピングになりました。  
また、この時カレーの「かくし味」という話がありました。  
家庭で聞いた話の方もいるねと思ったり、お題

だったんです! 子ども達も聞いてきたかくし味は、  
こんな物がありました。にんにく・人参・牛乳・  
しょうゆ・ケチャップ・チョコレート... それぞれの家庭  
の味が出てきて、おもしろい時間になりました。  
子ども達は出てくる「かくし味」に「え!!」と驚いたり  
「おいしいかな」とつぶやいたり、フキンの  
楽しさに慣れると...なと思う時でした。  
今回、聞いた自己実現に向けての話しあいを通い  
力を付けた子ども達です。

「自分たちのキャンプだもん!」

年長キャンプは、どこか別の場所へ行って特別な経験をする  
のではなく、慣れ親しい公園で、でも生活の全てを自分たちで  
組み立てるキャンプです。いろいろな事を相談するうち  
「ねえ、よるはくらいいけど どうするの?」と子どもたち、

「ねえ、よるはくらいいけど どうするの?」と子どもたち、  
「お手紙を書いて 大学本部棟にある  
防災センターへ ごあいさつ。職員さんから  
「了解!」のお返事をいただけるので安心して帰ってきました。」  
「了解!」のお返事をいただけるので安心して帰ってきました。

2019

ねんちゅうキャンプ

7/17 ~ 7/18



「せんせー 生協さんにも注文しよ!!」  
たすけの(5)にたすけの どうするの...!

2日間とはいえ、キャンプのためには様々な  
食材や準備の品物が必要です。それらは、大学生協  
で子ども達と買って園まで運びます。



生協では注文表を渡しました。  
いろいろ質問されてドキキ  
リながらもうれしそうに答える  
子ども達。その他にも

学生さんやおじいの方々に声をかけて  
いただける。たくさんの方に聞いていただき喜びを感じました。

荷物の準備も自分たちで!!

着替えの仕分けのためや、大きい荷物用タグも自分たちで  
作りました。特に今年は名札と大きいバックに結びつける  
ヒモを「みつあみ」で手作り。  
3本のヒモを順番に糸通していく  
「みつあみ」 reverse 教習あみながら作りましたよ!



## 大きな行事は過程が大事！

こうして、年長さんは1ヶ月以上の長い時間をかけてキャンプの準備を少しずつ進めていきます。大きな行事は当日をどう過ごせたかはもちろん大切です。同時に時間軸がわかり、生活に見通しと期待を持てるようになっていく年長さんにとっては特にその日までの「過程」がとても大事です。

「夜は暗いけど大丈夫かな」「じゃあ防災さんをお願いに行こう」「みんなの分のカレーの材料、ちゃんと生協さんにある？」「注文する？紙に書く？」という発言もキャンプまでの見通しを持っているからこそですね。私たち保育者は、子ども達のその主体性を大事にしたい、子ども達の願いを実現したい、と保育を組み立てます。同時に「ちょっと難しいことにみんなで挑戦する」という5歳児ならではの成長を促すために「こんなこともやってみようか」と提案もします。

新しい歌を覚えたり話し合ったり様々な係を決めたり大忙しの年長さん。初めておうちの人と離れて泊まる人もいますが「みんながいるからだいじょうぶ」という声を聞きました。

キャンプまであと一週間、期待を持てるような毎日にしたいと思います。

## 様々な人と関わり支えられる年長キャンプ

防災センターや大学生協にご挨拶に行った時も、多くの方に声をかけていただいた子ども達。今は様々な理由で、子ども達が「自分の生活に関係のあるいろいろな人に関わる」ことが極端に難しくなりました。

多様な人との関わりや人とのコミュニケーション力、調整能力は子ども達が園を巣立ってからの小学校以上の教育現場で今、盛んに必要性が言われていますが、園では以前から「愛され、育ちあう」という保育目標の中に大事に位置づけられてきたものです。縦割りの生活の中で、おうちの方が一年を通して保育に関わってくださる中で、また、バザーやキャンプ、園庭ワークなど多くの場面で卒園生やその家族がボランティアとして参加して下さる中で、神様に導かれ、この園につながった多様な人々が関わりあい「育ちあう」関係をこれからも大事にしたいと思っています。

### 幼稚園は心のふるさと

今年度も卒園生を中心としたボランティアの方々にキャンプを支えていただきます。どのボランティアさんも保育者のサブとしてお手伝いをお願いしています。食事の下準備や片付け、力持ちの男性ボランティアはファイアーや花火の準備、火の管理と片付け、布団敷など大忙し。また東門からの不審者防犯のため、にじ組での就寝をお願いしています。卒園生ボランティアは高校生から。「早く高校生になって行きたい！」という声を毎年聞きます。いつまでも「帰りたい」と言ってもらえるような園でありたいと思っています。

卒園生の皆さん

今年度のボランティアの方々

ありがとうございます！

金城学院大学

